

■ 新型コロナウイルス対応マニュアル 感染レベル3

※ [] をレベル3対応としてレベル2に追記

1 基本的な取組

(1) 感染源を絶つ（ウイルスを園に持ち込まない）

- ① 風邪等の症状がある時にはお休みをしてもらう。発熱の場合には、受診して結果（再登園日）を園に連絡してもらう。ただし、解熱後24時間以上経過し、症状が改善傾向になるまでは登園できない。また、坐薬を使用した翌日は登園できない。
- ② 登園時、健康観察表により園児の検温結果及び健康状態を把握する。
- ③ 職員は、出勤時に健康状態等を記録に残すとともに、自身の検温記録を管理する。
- ④ 登園後に発熱等の症状が見られた場合は、保護者に迎えを依頼する。その際、兄弟児についても、一緒に連れて帰っていただく。
- ⑤ 同居の家族、また日頃子守りや送迎等お世話をしている親族に風邪等の症状がある時には登園しない。
- ⑥ 外部講師等訪問者と園児との交流を休止する。
- ⑦ 未就園児子育て支援事業（わくわくランド）を休止する。
- ⑧ 訪問者には検温・消毒を行い、来園者名簿に氏名、日時、検温結果等を記録してもらう。
- ⑨ 給食の食材等納入業者は、自ら検温をし、体調を確認してから納入をする。
- ⑩ 園児の受け取りと引き渡しは、玄関または出入口の外で行う。
- ⑪ 参観日等の園行事は、保護者同士の距離を1メートル以上確保して行う。確保が難しい場合は中止して、動画配信または会議アプリを利用する。
- ⑫ 降園後の園庭遊びを控え、速やかに帰宅してもらう。

(2) 感染経路を絶つ（園で集団感染させない）

- ① 手洗い
 - ア 流水とハンドソープで30秒程度かけて丁寧に洗う。
 - イ 手洗いは、外から園舎に入った時、給食の前後、掃除の後、トイレの後、集団遊びの前後、絵本の部屋に入る前と出た後に行う。
- ② 手指消毒
登園直後や給食の配膳後はアルコール消毒をする。
- ③ マスクの着用（3歳以上児）
 - ア 清潔なマスクを鼻から顎まで覆い、隙間がないように着用する。
 - イ 替えのマスクを用意し、給食前後で交換する。
 - ウ たんぽぽ組の園児にもマスクの扱いを指導する。
- ④ 清掃・消毒
 - ア 園児の登園前または降園後に、ドアノブや取っ手など多くの者がよく触れる部分に、次亜塩素酸ナトリウム水溶液や消毒用エタノールで消毒する。
 - イ 玩具は計画的・定期的に消毒する。
 - ウ 園児が口にしやすい玩具は他の園児に触らせないとともに、毎日消毒する。
- ⑤ 給食・おやつ

- ア 給食とおやつの際は横並びとし、座席を指定する。
- イ 職員は、給食やおやつときの園児の座席位置を記録する。
- ウ テーブルは、職員が食事の前後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭く。
- エ **子どもによる配膳は行わず、大人が行う。**
- オ 食事介助中は、園児の唾液が手に付きやすくなるので、職員自身の手や目、鼻、口に触れないよう注意する。また、給食専用のエプロンを身に付ける。
- カ 食事中は声を出さない。
- キ **食後は、自分の席で静かに過ごすか屋外で過ごすなど、園児同士の密接を避ける。**

⑥ 感染リスクの高い活動を控える。

- ア 園児同士が近距離で一斉に大きな声を出す活動
- イ 園児同士の身体的距離が2m確保できない場所での合唱
- ウ 鍵盤ハーモニカの演奏
- エ 園児同士が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動 など。

⑦ 通園バスにおける感染防止

- ア 危険のない箇所の窓を開け、常に外気を取り入れる。
- イ 1シートにつき1名のみでの使用とし、座席位置を記録する。
- ウ バスの乗降時に手指消毒を行う。
- エ バス内では大きな声を出さない。

(3) **抵抗力を高める** (健康的な生活)

- ① 十分な睡眠
- ② 適度な運動
- ③ バランスの取れた食事

2 集団感染のリスクへの対応

(1) **密閉の回避** (換気の徹底)

- ① 窓を開けたり、換気扇や扇風機を回したり、部屋の入り口を開放したりする。
- ② エアコンをかけている際も、対角線上に窓を20cm程度ずつ開ける。

(2) **密集の回避** (身体的距離の確保)

- ① 園児が分散して遊べるようにできるだけコーナーに分ける。
- ② 手洗い場やトイレで込み合うことを避けるため、クラスごとに利用させる。
- ③ **異年齢児合同の遊び(活動)は中止し、できるだけクラス単位で行う。**
- ④ **誕生会など屋内でのイベントは中止する。**
- ⑤ 午睡は、園児同士の身体的距離を1m以上空けるか、頭と足を交互にするとともに、午睡の並び位置を記録する。
- ⑥ **オレンジコース、一時預かりは、特別な事情がない限り休止する。(新2号認定児を除く)**

(3) **密接の場面への対応**

- ① 遊びを極力分散したり、遊具の配置を工夫したり、教師の援助を行ったりする。
- ② **園児同士が体を触れ合う遊びをさせない。**
- ③ マスクを着用させるとともに、集団遊びの前後に手洗いをする。
- ④ **集団遊びでは、30分おきに手洗いまたは消毒を行う。**